



市大キャラクター  
『ヨッチー』

## 厚生労働科学研究委託事業「難治性疾患等実用化研究事業」の研究拠点に選ばれました！

～難病の克服に向けた遺伝子解析研究をさらに推進します！～

横浜市立大学では、遺伝子解析研究において世界的なレベルで先端ゲノム研究を推進し、これまでに数多くの実績をあげています。基本的なプラットフォームとして、橋渡し研究の推進を目的とした先端医科学研究センターを整備し、次世代シーケンサーを中心とした国内有数のゲノム解析機器を用いて、ヒト遺伝子情報に基づいた革新的な診断法や治療法を開発する研究拠点を目指しています。

平成23年度には、全国に5班ある「次世代遺伝子解析装置を用いた難病の原因究明、治療法開発プロジェクト」の研究拠点の1つに選ばれ、遺伝性の「難治性てんかん性脳症」「コフィン・サイリス症候群」「SENDA」「ネマリンミオパチー」「遺伝性骨系統疾患」などの原因となる遺伝子を発見しました。

今回、厚生労働科学研究委託事業「難治性疾患等実用化研究事業」に提案課題が採択されたことを受け、希少難病の病態解明と治療法開発を目標として、さらに研究を推進していきます。



先端医科学研究センター

### 1 提案課題

#### 「遺伝性難治疾患の網羅的遺伝子解析拠点研究」

希少遺伝性難治性疾患の病態解明と治療法開発に向けた遺伝子解析を強力に推進するために、遺伝子解析拠点としての機能を強化・発展させる

- ・ 疾患コンソーシアムの拡大
- ・ 全国規模のネットワークから症例を収集
- ・ 次世代シーケンサーを用いた全エクソーム解析
- ・ 次世代データ解析プロトコルの策定



- ・ 新規の疾患遺伝子の解明
- ・ 難病診断サービスを展開
- ・ 新しい治療法の開発 など

### 2 研究体制

代表機関 公立大学法人横浜市立大学

研究代表者 松本 直通（横浜市立大学学術院医学群 遺伝学 教授）

### 3 実施予定期間

平成26年度～平成28年度（予定）

**参考** 平成26年度 厚生労働科学研究委託事業「難治性疾患等実用化研究事業」について

・本研究事業は、「希少性」、「原因不明」、「効果的な治療方法未確立」、「生活面への長期にわたる支障をきたす」の4要素を満たす希少難治性疾患を対象として、病因・病態の解明、画期的な診断・治療・予防法の開発を推進することで、希少難治性疾患の克服を目指すことを目的とする。

・研究期間：1年

※複数年の研究期間が必要となる場合には、研究期間が複数年の研究計画書を作成し、提出することができる。(評価の対象となる研究期間は原則3年まで)

・新規採択予定課題数：3～5件

**YCU**  
横浜市立大学

<b>お問い合わせ先</b>
(取材対応窓口、資料請求など) 公立大学法人横浜市立大学 先端医科学研究課長 立石 建 TEL : 045-787-2527 E-mail : sentan@yokohama-cu.ac.jp

**【横浜市立大学先端医科学研究センター】**

横浜市の中期計画に基づき、「がん」や「生活習慣病」などの疾患克服に向けて取り組んでいる大学の研究施設です。基礎的研究を推進し、さらにその成果を少しでも早く診療の場や市民の方々に還元する「橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)」体制の構築を目指しています。現在、本学の持つ技術シーズを活用した最先端の医科学研究を行う23件の研究開発プロジェクトを推進し、研究成果を市民等の皆様へ還元することを目指しております。

松本直通教授は、先端医科学研究センターゲノム解析センター長を兼ねるとともに、先端医科学研究センター研究開発プロジェクトの「発生と疾患に関わるゲノム・エピゲノム解析」プロジェクトリーダーを担当しています。

URL : <http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/index.html>